

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

静岡県吉田町立吉田中学校

【GIGA×指導の工夫・改善】 GIGA×指導の工夫・改善 ～子供の主体性を生むラーニングガイド～

単元課題
私たちの住む「中部地方」とは、どのような地方なのだろう
～今までの社会科の学習を生かして、自分たちで授業を作ろう～ 教科書範囲P219～234

<単元について> (全6時間)

①単元課題を解決するために、「仮説」と「何をどの
ように進めていくのかを計画」し、先生の☑を受ける。【課題設定】(主体)

②教科書、資料から課題解決に必要な情報を集める。【情報収集】(技能)

③集めた情報を表や思考ツールを使って整理し、
見方・考え方を意識して、情報を分析する。【整理・分析】(思考・判断)

④4時間目に中間報告会を開催し、進捗状況を確認し合う。【まとめ】(表現)

⑤【学びの舞台】
6時間目に探究した内容をパネルディスカッション形式で議論する。
【まとめ】(表現)

※協働したいと思ってもらえる人になる。また、自分で判断し、自分から声をかける練習！
※教室は8つの島を作っておき、協働しやすいようにする。
※毎回「振り返り」で学習した内容をリトリブする。【知識・主体】

ラーニングガイド (学習の手引き)

<考察>

生徒にわかりやすい形で「単元課題」「学習内容」「単元の総時間数」「評価規準」等をラーニングガイドに細かく示すことで、学習者主体の姿が見られるようになった。また、自分たちで学習計画表を作成することで、自分たちの課題解決に向けた学習をすることができた。困ったことや確認したいことがあった場合は、呼びかけに応じた生徒同士で席を移動して取り組む姿が生まれた。

単元の評価規準

単元の評価規準 (学習のポイント)

知識・技能

- ✓教科書に載っている文章や資料から単元課題を解決するために必要な情報を読み取ることができる (技能)。
- ✓収集した情報を適切なツールを使用して整理できる (技能)。
- ✓解決した学習課題に関する「つまり」は、知識として記憶に定着させ、いつでも取り出すことができる。

思考・判断・表現

- ✓整理した情報を、地理的な「見方・考え方」を生かして、教科書の記述や資料を比較したり、関連付けたりして分析し、「つまり」を書くことができる。

※地理的な見方・考え方とは

- ・どこに位置しているのか？
- ・どのような場所なのか？
- ・まわりの自然環境からどんな影響を受けているのか？
- ・まわりの自然環境にどんな影響を与えているのか？
- ・その地域の特徴は何か？ (他地域と比較する)

主体的に学習に取り組む態度

- ✓単元の構成を理解し、単元課題を解決するためにどのように学習に取り組むべきか計画を立て、**時間内**に課題解決できるように授業に参加している。
- ✓「見方・考え方」を意識し、粘り強く単元課題、学習課題に取り組んでいる (社会的手抜き×)。
- ✓協働したら「学びが深まる」と考えられるクラスの人と議論し、課題解決に取り組んでいる。

学習計画表

単元計画 (全6時間)

時間	内容	調べ方・思考ツール	協働計画 (誰と、いつ)
1	仮説を立て、先生のチェックを受ける 授業の計画を立ててこの表にまとめる。 中部地方の自然環境 (日本アルプスについて)	教科書 (P222)	1人でやる
2	北陸・中央高地 について調べる	教科書 (P223、228～229、230～231)	1人・友達と共有
3	東海・名古屋市 について調べる	教科書 (P223～227、225)	1人・友達と共有
4	中間発表会		
5	欠如していた情報を整理・まとめ直す		1人でやる

6 パネルディスカッション 私たちの住む「中部地方」とはどういう地域なのだろう